

令和5年度学校自己評価システムシート (県立新座高等学校)

目指す学校像	みんなの心が共に響きあう学校
--------	----------------

重点目標	人として信頼され、志を持った生徒を育成する 1 確かな学力を身につける学習システムの下、すべての生徒が学ぶ喜びを実感する《学力の向上》 2 一人一人の生徒に徹底的に寄り添い指導・支援し、多様な生徒の進路希望を実現する《自己実現の醸成》 3 地域社会と連携し、チームとしての学校力の向上を果たす 《開かれた学校づくり》
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)				
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	<p>(現状) ICT 機器やクラウドシステムを活用した学びが進み、少人数指導やグループ学習を通じた個に応じた学びによる主体的、対話的で深い学びへの指導の実践を行っている。そして、観点別評価による指導と評価の一体化を進めている。</p> <p>(課題) 昨年度から取り入れた観点別評価について、各教科における指導と評価の一体化の課題を集約し、生徒個々にアプローチする指導に生かすことが求められる。</p>	<p>○観点別評価による指導と評価の一体化により、生徒個々の基礎学力の定着とさらなる学力の向上を図る取組を進める。</p> <p>○生徒個々に対するきめ細かい支援を通じた授業規律の確立を目指し、落ち着いた学習環境作りを行う。</p>	<p>①観点別評価による指導と評価の一体化を推進し、生徒の実態を反映した学習指導、学習評価の検討を進める。</p> <p>②生徒個々にアプローチするための定期考査前の勉強会や各種検定試験への取り組みを通じた学習習慣の定着を進める。</p> <p>③生徒個々に対するきめ細かい支援体制を整え、SC 及びSSW と連携し教育相談的視点での生徒の育成を行う。</p> <p>④各種面談やアンケートを活用して、生徒の実態を把握することにより学習環境を整える。</p>	<p>①授業研究プロジェクト及び各教科、教育課程委員会で指導と評価の一体化の検討を推進。</p> <p>②成績優良者・不振者数推移。また、検定試験等への取組。</p> <p>③遅刻・欠席数の推移や挨拶の励行等の状況およびSC、SSW 活用状況</p> <p>④各種面談の実施状況やアンケート等の調査結果。</p>				
2	<p>(現状) キャリア教育の計画的な実施及び総合的な探究の時間の有機的な取組、外部人材の有効な活用により、人間的成長を推進している。</p> <p>(課題) 教職員と外部人材が一体となった教育活動が実践される中、生徒の自己理解を深めさせ、進路選択の多様性を認識させることが求められる。</p>	<p>○3年間を見据えて、段階的に生徒自身の自己理解を助長させる取組を行う。そして、生徒の多様な進路実現を図り、生徒に寄り添う指導を行う。</p> <p>○学校行事等における生徒の様々な活動を通して、生徒個々の主体性の伸長や社会性の養成を行う。</p>	<p>①総合的な探究の時間を柱に、各学年の目標に沿った各種取組を行い、自分自身を振り返る機会を設定し、多様な進路実現に繋げる。</p> <p>②学習サポーター等による積極的な学習支援を行う。</p> <p>③通級支援による個別指導を必要としている生徒への対応を実施する。</p> <p>④部活動や生徒会活動および学校行事等を通じた体験活動の推進を図る。</p>	<p>①ガイダンス等の実施状況及び総合的な探究時間における生徒の取組状況とキャリア教育指導の状況。</p> <p>②学習サポーターや支援員等の活用状況。</p> <p>③通級支援員による個別指導状況等の活用状況。</p> <p>④部活動加入状況や各種体験活動の内容と取組状況。</p>				
3	<p>(現状) 近隣小中学校との連携を推進したことや各種説明会、ホームページ更新、メール配信などにより、外部に対して効果的に広報することができている。</p> <p>(課題) 近隣小中学校及び地域との連携をさらに強化するとともに、ホームページによる情報公開を更に進める必要がある。</p>	<p>○PTA・後援会だけではなく地域機関との連携を積極的に進めた学校づくりを行う。</p> <p>○ホームページによる情報公開や学校説明会等を積極的に行い、外部への本校教育活動の理解度を高める。</p>	<p>①小中学校などの近隣機関との連携事業や各種行事を通して、生徒会や部活動等の連携事業を推進する。</p> <p>②ホームページ更新や学校説明会等を行い、外部への情報発信を積極的に行う。</p>	<p>①校外機関と連携した取組の活動状況。講演会等の外部人材の活用状況。</p> <p>②ホームページ更新状況や学校説明会等の実施状況。</p>				

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	